

特定非営利活動法人「市村自然塾 九州」
令和2年度 通常総会

1. 日 時 令和3年3月5日（金曜日）
総 会 午前11時
2. 場 所 「市村自然塾 九州」塾舎
佐賀県鳥栖市河内町字谷口 2212-2
3. 審議事項
- (1) 第1号議案 令和2年度 事業報告および決算報告の件
① 令和2年度 事業報告書
② 令和2年度 活動計算書
- (2) 第1号議案 令和3年度 事業計画および活動予算の件
① 令和3年度 事業計画書（案）
② 令和3年度 活動予算書（案）
- (3) 第3号議案 理事および監事選任の件



市村自然塾 九州

令和2年度 事業報告書

【自然塾活動の概況】

1. 全体概要

令和元年11月末に中国の武漢市で発生した新型コロナウイルスは世界的に感染拡大しました。令和2年1月に日本でも感染者が発生してからは全国的に拡大し、現在もお束の見通しは立っていない状況が続いています。そのような状況下で市村自然塾九州においては、政府、自治体、行政等の動きを注視しながら塾生にとって安全安心な対策を講じてきました。具体的には従来の全18ステージ、2泊3日の活動は中止し、宿泊なしの日帰り体験コースへの変更、保護者による送迎等を軸とした活動を行いました。

月別の塾の対応は下記のとおりです。

月	世間の状況	塾の対応	月	世間の状況	塾の対応
3月	政府によるイベント自粛要請 コロナ感染の拡大	入塾式中止、理事会・総会を書面決議へ変更 第2ステージまでの活動を見送り	8月	コロナ感染の再燃	山下総合塾長の来塾(8月1日) 女子第4stの実施 第5ステージ以降の中止発表 鳥栖市体験学習の実施(8/11～12)
4月	政府の緊急事態宣言が発令 緊急事態宣言が全国に拡大	第3ステージからの活動開始を見送り 第4ステージ以降(5月活動)の中止発表			
5月	緊急事態宣言の延期(月末まで) 緊急事態宣言の一部解除 学校休校の解除	臨時理事会の開催(5月27日)	9月	コロナは小康状態 管内開発足(14日) Gotoキャンペーンによる経済支援	現状と次年度計画(案)を理事に報告 支援金と会員拡大のための企業訪問 寄付金とふるさと納税による支援依頼 (やまもの会、歴代職員)
6月	緊急事態宣言の解除	6月14日からステージ再開(男子第1st) 男子第1～第2stの実施 女子第1stの実施	10月	福岡県コロナ警報解除(9日)	塾生募集の開始(12月末まで) 男子第8最終ステージ(10月25日)
7月	コロナ感染が小康状態	男子第3～第4stの実施 女子第2～第3stの実施	11月		女子第8最終ステージ(11月1日) 次年度計画と予算化
			12月		鳥栖ロータリークラブでの講演 令和3年度塾生募集の締切(31日)

「主なコロナウイルス対策」

① 活動期間の短縮

	計画	実績
男子	3月13日～11月22日	6月14日～10月25日
女子	3月20日～11月29日	6月21日～11月1日
ステージ数	全18ステージ	全8ステージ

- ② 保護者による送迎とし、公共交通機関の利用は中止する。
- ③ 日帰り活動とし、宿泊活動は中止する。
- ④ 入塾式、親子大会、やまもの会、ボランティア、卒塾式は全て中止とする。
- ⑤ 健康観察カードを活用し、塾生の体温測定や体調管理を行ったうえで活動に参加させる。
- ⑥ 塾舎の出入口、塾生室等にアルコール消毒液を設置し、室内換気を徹底し感染防止に努める。

「令和2年度の振り返り」

		令和2年度																																				
		実施できたこと	できなかったこと・不十分だったこと																																			
全体		コロナ禍での日帰り体験コースの実施(8ステージ)	第18期生としての2泊3日の活動(全18ステージ)																																			
農業体験活動 ・米づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・稲刈 ・脱穀 ・掛け干し ・唐箕選 ・わら縛り 	<ul style="list-style-type: none"> ・種籾の塩水選 ・代かき ・結束 ・温湯消毒 ・田植え ・わら縛り ・播種 ・除草(株かき) 																																				
・共同農園	<ul style="list-style-type: none"> ・支柱、誘引 ※手入れ作業と収穫が中心 ・鳥獣対策 ・収穫 	<ul style="list-style-type: none"> ・畑の土づくり ・播種 ・土寄せ ・支柱、誘引 ・畝うち ・苗の定植 ・追肥 ・鳥獣対策 ・畝上げ ・芽欠き、間引き ・除草、水やり ・収穫 																																				
・チーム農園	<ul style="list-style-type: none"> ・播種 ・定植 ・手入れ ・収穫 ※手入れ作業と収穫が中心 	<ul style="list-style-type: none"> ・前作、後作の作付け計画 ・土づくり ・畝上げ ・親子大会での活動発表 																																				
自然体験活動	<table border="1"> <tr><td>3月</td><td></td></tr> <tr><td>4月</td><td></td></tr> <tr><td>5月</td><td></td></tr> <tr><td>6月</td><td></td></tr> <tr><td>7月</td><td></td></tr> <tr><td>8月</td><td>リバートレッキング</td></tr> <tr><td>9月</td><td></td></tr> <tr><td>10月</td><td>餅つき</td></tr> <tr><td>11月</td><td></td></tr> </table>	3月		4月		5月		6月		7月		8月	リバートレッキング	9月		10月	餅つき	11月		<table border="1"> <tr><td>3月</td><td>地域探索、椎茸の菌打ち、味噌づくり</td></tr> <tr><td>4月</td><td>ヤマメの放流、危険予測</td></tr> <tr><td>5月</td><td>泥んこ運動会、追跡ハイキング ホテルの観察</td></tr> <tr><td>6月</td><td>清掃ボランティア、座禅体験</td></tr> <tr><td>7月</td><td>塾野菜料理会</td></tr> <tr><td>8月</td><td></td></tr> <tr><td>9月</td><td>親子共同農業体験、テント宿泊</td></tr> <tr><td>10月</td><td>九千部山登山、日の出拝観、天体観測</td></tr> <tr><td>11月</td><td>紅葉ライトアップ点灯式合唱</td></tr> </table>	3月	地域探索、椎茸の菌打ち、味噌づくり	4月	ヤマメの放流、危険予測	5月	泥んこ運動会、追跡ハイキング ホテルの観察	6月	清掃ボランティア、座禅体験	7月	塾野菜料理会	8月		9月	親子共同農業体験、テント宿泊	10月	九千部山登山、日の出拝観、天体観測	11月	紅葉ライトアップ点灯式合唱
3月																																						
4月																																						
5月																																						
6月																																						
7月																																						
8月	リバートレッキング																																					
9月																																						
10月	餅つき																																					
11月																																						
3月	地域探索、椎茸の菌打ち、味噌づくり																																					
4月	ヤマメの放流、危険予測																																					
5月	泥んこ運動会、追跡ハイキング ホテルの観察																																					
6月	清掃ボランティア、座禅体験																																					
7月	塾野菜料理会																																					
8月																																						
9月	親子共同農業体験、テント宿泊																																					
10月	九千部山登山、日の出拝観、天体観測																																					
11月	紅葉ライトアップ点灯式合唱																																					
共同生活	<ol style="list-style-type: none"> 共同生活の根幹となるもの <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、返事・整理整頓・あと片付け ・食事のとり方・箸の使い方・姿勢・床の拭き掃除 昔ながらの炊飯体験 <ul style="list-style-type: none"> ・実施無し 助け合うこと、協力すること <ul style="list-style-type: none"> ・チーム活動 ・歌の合唱 	<ol style="list-style-type: none"> 共同生活の根幹となるもの <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、返事・整理整頓・あと片付け ・食事のとり方・箸の使い方・姿勢・床の拭き掃除 ・トイレ掃除・入浴の仕方・布団の準備、片付け等 昔ながらの炊飯体験 <ul style="list-style-type: none"> ・米とぎ・釜飯炊き(土曜の朝・夕、日曜の朝) ・羽釜洗い 助け合うこと、協力すること <ul style="list-style-type: none"> ・語らい ・シンボルづくり ・最終ステージの出し物 ・兄弟の役割の徹底 																																				
その他	<ol style="list-style-type: none"> コロナウイルス感染時の対応 1日体験コースによる運営 	<ol style="list-style-type: none"> 公共交通機関による通塾 宿泊を伴う活動 塾生同士の触れ合い時間の確保 塾生との会話(スタッフによる深掘りの時間) 																																				
自然塾活動以外	<ol style="list-style-type: none"> 鳥栖市体験学習事業 	<ol style="list-style-type: none"> やまももの会総会 やまももの会のボランティア活動 																																				

【参考】

I 開塾までの経緯

令和2年度については、子供達の健全育成活動(以下「自然塾活動」)を行うため、3月1日の入塾式および3月16日からの第1ステージに向けての準備を開始しました。

1. 自然塾活動の拠点となる「塾舎」については、当法人を設立した平成14年の9月に完成し、主要支援先であるコカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社様から無償で借用しており、平成22年および平成29年に改修工事をしていただきました。
また、塾舎のある用地については平成14年9月から鳥栖市様より無償で借用しております。
2. 自然塾活動の基盤となる「農地」については、地域の方から借受けした農地5ヶ所(約4,000㎡)を水田と畑として活かし、継続して米や野菜の農作物を作る計画としました。
3. 自然塾活動や運営のための職員は、常勤9名(うち企業からの派遣3名)、非常勤3名を確保し、カリキュラムの内容や育成する野菜の検討、農地の整備・耕作等を行いました。
4. 令和2年度の塾生(第18期生)の募集については、令和元年8月より福岡県・佐賀県の教育委員会を通じて募集を依頼し、男子38名、女子45名の合計83名の応募がありました。
塾生の選考にあたっては、令和元年12月22日～23日に塾舎にて本人および保護者と面談を行い、本人の意思確認を経て、男女58名の入塾を決定しました。

- ・応募数 83名 (男子38名、女子45名) (福岡県39名、佐賀県43名、熊本1名)
- ・入塾生 男子30名 (小学生29名、中学生1名) (福岡県18名、佐賀県12名)
女子28名 (小学生27名、中学生1名) (福岡県 8名、佐賀県19名、熊本県1名)

地域	男子	女子	合計
福岡県	18	8	26
佐賀県	12	19	31
熊本県	0	1	1
合計	30	28	58

学年	男子	女子	合計
中学1年	1	1	2
小学6年	4	13	17
小学5年	19	9	28
小学4年	6	5	11
合計	30	28	58

5. 運営資金については、主要支援先であるコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社様からの支援金が大幅な減(前年実績比 △13,635千円)となったため、令和2年度の収支は、約8,000千円の資金不足になる見込みとなりました。そのため、周年積立金(5,000千円)を取崩すことで支出超過を賄う計画としました。

【内訳】

(1) 会費	①正会員(法人・個人)	3,051,000円
	②賛助会員(法人・個人)	177,000円
		計 3,228,000円
(2) 寄付金	①コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 様	31,460,000円
	②コカ・コーラウエスト山陽基金 様	3,000,000円
	③公益財団法人市村清新技術財団 様	2,500,000円
		計 37,260,000円
(3) 雑収入	①鳥栖市体験学習の戻入れ・中山間地補助金他	50,000円
		合計 40,538,000円

6. 塾生募集活動

令和3年度の塾生募集を行いました。次年度もコロナウイルス感染の影響が考えられることから募集人数を減らし日帰り活動を柱としたことにより、募集規模を見直した案内としました。
また、令和2年度の塾生は期間も短く体験コースの位置づけだったため、令和3年度は優先的に入塾を認める措置としました。

- ・募集人数 21名(通常は30名)
- ・募集期間 10月1日～12月31日
- ・配布先 「やまもの会」(OB・OG)の在籍時の学校に絞って配布
令和2年度「鳥栖市体験事業」の参加者に配布
令和2年度の体験コース参加者に配布

・入塾希望者

学年	男子	女子	合計
中学1年	2	3	5
小学6年	15	13	28
小学5年	11	11	22
小学4年	2	2	4
合計	30	29	59

地域	男子	女子	合計
福岡県	19	11	30
佐賀県	11	18	29
合計	30	29	59

- ・面談日 令和3年1月16日～17日

II ステージ休止中の主な活動

1. 「ふるさと納税」による寄付金収入

佐賀県の「ふるさと納税」の仕組みを活用し、NPO法人としての団体登録を行いました。
理事企業、やまもの会、歴代職員に案内することで「ふるさと納税」による収入(2,969千円)を確保しました。

2. 「やまもの会」保護者への寄付依頼

「やまもの会」メンバーに対して自然塾九州存続のための支援の依頼を行い、寄付金収入(890千円)を確保しました。

3. 会員拡大の活動

次年度以降の収入を確保すべく法人企業への訪問や講演会を実施しました。

- ・企業訪問 13社
- ・講演会 1回(鳥栖ロータリークラブ)

会員の状況(令和2年12月末現在)

	法人		前年比		個人		前年比	
	社数	口数	社数	口数	人数	口数	人数	口数
正会員	44	99	▲6	▲10	23	99	▲9	+71
賛助会員	5	8	▲1	▲1	39	85	▲9	+77
計	49	107	▲7	▲11	62	184	▲18	+148

III その他の報告

1. 周年積立金(5,000千円)取崩しの見送り

令和2年度予算策定時では資金不足になる見込みでしたが、コロナの影響で活動を中止したことで支出が大幅に減少した結果、周年積立金取崩しは見送りとしました。

2. 「鳥栖市少年少女自然体験学習事業」の開催

鳥栖市教育委員会主催の「鳥栖市少年少女自然体験学習事業」を共同で開催し、自然の中での体験活動や学校や学年を超えたグループでの活動を通じて、子供たちの自発性と協調性を養い高めてもらうことを目的として実施しました。

- ・開催日 8月11日～12日
- ・鳥栖市の小学生18名(例年は30名)を日帰りで受入れ。
- ・コロナウイルス感染予防のため、受入れ人数を減らし、日帰り(2日間)の活動としました。

〈第1号議案〉 令和2年度 事業報告および決算報告の件 ②

活動計算書

令和2年1月1日から令和2年12月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
法人正会員受取会費	2,970,000	
個人正会員受取会費	297,000	
法人賛助会員受取会費	40,000	
個人賛助会員受取会費	127,500	3,434,500
2. 受取寄付金		
受取寄付金		37,942,000
3. その他収益		
受取利息	562	
雑収益	67,758	68,320
経常収益計		41,444,820
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	15,548,422	
賃金	1,028,166	
法定福利費	2,349,765	
人件費計	18,926,353	
(2) その他経費		
教材費	387,567	
器具備品費	65,000	
燃料費	61,802	
図書資料費	77,736	
保健衛生費	81,134	
食材費	140,741	
通信運搬費	599,467	
消耗品費	343,530	
水道光熱費	864,669	
賃借料	1,320,260	
印刷製本費	491,548	
修繕費	68,598	
保険料	27,890	
その他経費計	4,529,942	
事業費計		23,456,295
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	10,557,157	
人件費計	10,557,157	
(2) その他経費		
旅費交通費	195,990	
福利厚生費	2,513,081	
通信運搬費	64,238	
消耗品費	20,023	
水道光熱費	216,387	
賃借料	270,102	
渉外費	161,103	
修繕費	5,980	
支払手数料	112,112	
保守費	1,818,727	
減価償却費	4	
雑費	109,192	
その他経費計	5,486,939	
管理費計		16,044,096
経常費計		39,500,391
当期正味財産増減額		1,944,429
前期繰越正味財産額		7,841,711
次期繰越正味財産額		9,786,140

貸 借 対 照 表

令和2年12月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,721,253		
未収金	890,000		
仮払金	17,000		
流動資産合計		7,628,253	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
器具備品	1		
有形固定資産計	1		
(2)投資その他の資産			
周年記念積立預金	5,000,000		
投資その他の資産計	5,000,000		
固定資産合計		5,000,001	
資産合計			12,628,254
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,210,018		
預り金	632,096		
流動負債合計		2,842,114	
負債合計			2,842,114
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		7,841,711	
当期正味財産増減額		1,944,429	
正味財産合計			9,786,140
負債及び正味財産合計			12,628,254

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（平成22年7月20日、平成23年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会）を採用している。

（1）固定資産の減価償却の方法

有形・無形固定資産 法人税法に定める耐用年数をもとに定額法によっている。

（2）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については、税込方式を採用している。

2. 固定資産の増減内訳

（単位：円）

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
器具備品	399,000	-	-	399,000	398,999	1
投資その他の資産						
周年記念積立預金	5,000,000	-	-	5,000,000	-	5,000,000
合 計	5,399,000	-	-	5,399,000	398,999	5,000,001

財 産 目 録

令和2年12月31日現在

(単位：円)

資産の部			
流動資産			
現金	132,674		
普通預金			
西日本シティ銀行 1107615	910,673		
西日本シティ銀行 3006184	3,430		
福岡銀行	4,943,052		
佐賀銀行	731,424		
未収金	890,000		
仮払金			
寮費・食費	17,000		
流動資産合計		7,628,253	
固定資産			
器具備品	1		
周年記念積立預金			
西日本シティ銀行 定期預金	5,000,000		
固定資産合計		5,000,001	
資産の部合計			12,628,254
負債の部			
流動負債			
未払金	2,210,018		
預り金			
源泉税	96,583		
社会保険	483,263		
住民税	20,900		
寮費・食費	31,350		
流動負債合計		2,842,114	
負債の部合計			2,842,114
正味財産			9,786,140

監 査 報 告

令和2年度の決算監査を実施しましたので、以下の通り報告致します。

監査の結果、事業報告および会計に関する処理は適正であることを認めます。

令和3年2月5日

監 事 江 副 友 祐 

令和3年度 事業計画書(案)

1. 事業計画策定にあたって

今年1月14日福岡県に緊急事態宣言が発令されるなど、昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染状況を注視しながらの事業運営をせざるを得ない。
また、主要支援企業がコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社様から、株式会社リコー様およびリコー三愛グループならびに地域の主要企業等に変更するため、安定した寄付金(収入)の確保とその収入に見合った事業規模への見直しが必要となる。
については、以下の事業計画策定方針に沿った事業計画案とする。

【事業計画策定方針】

- ・後述に記載の「事業活動方針」に基づき、塾生が着実に成長できるよう計画とする。
- ・昨年に引き続き、日帰りコースを基本とする。(ただし1泊2日のステージを2回計画)
- ・保護者による送迎は任意とし、バスによる通塾が可能とすべく西鉄バスとの調整を行う。
- ・可能な限り費用の圧縮に努める
 - ①塾生定員を42名(男子21名、女子21名)に見直し(18名減員)
 - ②職員人数を5名に見直し(4名減員)
 - ③ステージ回数、日数の減
 - ④必要経費の減(水道光熱費、教材費、消耗品費、食材費等)
- ・会員拡大、ふるさと納税等、安定的な収入を確保すべく、収益拡大にも力を入れる。

2. ステージ運営に関する活動

(1) 事業内容

- ①農業体験活動 子供たち自らの手で行う農作物の栽培／共同農園・チーム農園・田んぼ
- ②自然体験活動 リバートレッキング、天体観測(星・月の観察)、座禅、日の出拝観 など
- ③共同生活 挨拶、返事、清掃、整理整頓、食事マナー、チームワーク構築のためのプログラム、歌の合唱など
- ④ボランティア活動 河内地区での清掃作業 など
- ⑤宿泊活動 コロナ感染の状況次第では1泊2日のプログラムを2回実施

(2) 対象者

一般公募した小学4年生から中学1年生までの児童・生徒 男子21名・女子21名

●学年構成(対実績比)

	令和3年度(第18期)			前年比(R3年-R2年)		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計
中学1年	2	3	5	1	2	3
小学6年	13	11	24	9	▲2	7
小学5年	6	7	13	▲13	▲2	▲15
小学4年	0	0	0	▲6	▲5	▲11
合計	21	21	42	▲9	▲7	▲16

●地域構成(対実績比)

	令和3年度(第18期)			前年比(R3年-R2年)		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計
福岡県	15	8	23	▲3	0	▲3
佐賀県	6	13	19	▲6	▲6	▲12
熊本県	0	0	0	0	▲1	▲1
合計	21	21	42	▲9	▲7	▲16

(3) 活動の期間

- ①事前説明会 3月7日(日) 男子:午前 女子:午後
- ②男子活動期間 3月21日(日)～10月31日(日)
- ③女子活動期間 3月28日(日)～11月7日(日)
- ④修了式(男女各16ステージにて実施) 男子:10月31日(日)午後 女子:11月7日(日)午後

(4) 従事者の状況

常勤 5人 企業からの出向者(1名)、契約社員(3名)、アルバイト(1名)
 非常勤 2人 調理師(1名)、看護師(1名)

(5) 各ステージの活動内容

男女	ST	日付	午前	午後	夜間
		3/7	男子説明会(10-12時)	女子説明会(14-16時)	
男子	1	3/21	生活OL(避難)、交流レク(うた込)、農園見学	担当別MT① チーム農園計画①	
女子	1	3/28	生活OL(避難)、交流レク(うた込)、農園見学	担当別MT① チーム農園計画①	
男子	2	4/4	共同農園(鍬打ち)、チーム農園計画②	兄会議①、チーム農園計画③ うた	
女子	2	4/11	共同農園(ウルチ塩水選、鍬打ち)、チーム農園計画②	姉会議①、チーム農園計画③ うた	
男子	3	4/18	ヤマメの放流、共同農園(ウルチ播種)	チーム農園(開園式) うた	
女子	3	4/25	共同農園、自然体験	チーム農園(開園式) うた	
男子	4	5/9	共同農園(モチ塩水選)、農業の話①	チーム農園 うた	
女子	4	5/16	共同農園(モチ播種&ウルチ田植え)	チーム農園 うた	
男子	5	5/23	チーム農園後作計画①、農業の話②	チーム農園 うた	
女子	5	5/30	チーム農園後作計画①、農業の話②	チーム農園 うた	
男子	6	6/6	共同農園(モチ田植え)、危険予測	兄会議② チーム農園 うた	
女子	6	6/13	共同農園、危険予測	姉会議② チーム農園 うた	
男子	7	6/20	清掃ボランティア、農業の話③	チーム農園 うた	
女子	7	6/27	清掃ボランティア、農業の話③	チーム農園 うた	
男子	8	7/4	農業の話④・チーム農園後作計画②	チーム農園 うた	
女子	8	7/11	農業の話④・チーム農園後作計画②	チーム農園 うた	
男子	9	7/18	坐禅の話&坐禅会	兄会議③ チーム農園 うた	
女子	9	7/25	担当別MT② チーム農園(収穫)、塾野菜料理会	命の話 うた	
男子	10	8/1	担当別MT② チーム農園(収穫)、塾野菜料理会	命の話 うた	
女子	10	8/8	チーム農園、姉会議③	リポートレッキング うた	
男子	11	8/22	チーム農園	リポートレッキング うた	
女子	11	8/28	農業の話⑤	テント設営、チーム農園観察&計画 うた	語らい
		29	チーム農園		
男子	12	9/4	農業の話⑤	テント設営、チーム農園観察&計画 うた	語らい
		5	チーム農園		
女子	12	9/12	坐禅の話&坐禅会	チーム農園 うた	
男子	13	9/19	共同農園(ウルチ稲刈り)	チーム農園 うた	
女子	13	9/26	共同農園(モチ稲刈り)	チーム農園 うた	
男子	14	10/3	共同農園(ウルチ脱穀)	チーム農園 うた	
女子	14	10/10	共同農園(モチ脱穀)	チーム農園 うた	
男子	15	10/16	味噌作り	チーム農園 うた	星の観察 兄会議④
		17	早朝日の出拝観、作文①(下書き)		
女子	15	10/23	味噌作り	チーム農園 うた	星の観察 姉会議④
		24	早朝日の出拝観、作文①(下書き)		
男子	16	10/31	餅つき、チーム農園野菜収穫、閉園式	作文②(清書)、修了式(うた)	
女子	16	11/7	餅つき、チーム農園野菜収穫、閉園式	作文②(清書)、修了式(うた)	

(6) その他の活動

①鳥栖市「少年少女自然体験事業」の開催(18回目の開催)

- ・鳥栖市教育委員会からの依頼を受け、市村自然塾 九州スタッフが運営協力。
- ・清流体験などの自然体験活動や共同生活を通じて、子供たちの自発性と協調性を高めるという鳥栖市教育委員会生涯学習課の活動支援。
- ・鳥栖市内の小学生を対象に連続2日間の日帰りの自然体験活動。
- ・開催時期は夏休みの平日(7月20日~21日)を予定。

②「やまもの会」総会 の開催(17回目の開催)

- ・卒塾生(979名)の親睦を深め、交流を通して互いに学びあうことが目的。
- ・開催時期は夏休みの平日(男子:8月18日、女子:8月19日)を予定。

◆事業運営にあたって解決すべき課題

(1) 安定的な収入の確保

事業規模を縮小しても、安定的かつ効果的な事業運営が続けられるよう会員拡大(退会者の抑止)や、ふるさと納税の継続ならびに新規寄付金先の拡大を行う。

(2) 借地農地の返却と農作エリアの縮小

- ・事業規模を縮小するために2つの田畑を貸主に返却する。
- ・チーム農園を主体に取り組み、チーム数も削減することから、栽培野菜の数を減らして昼食で使用する野菜を厳選し、栽培管理を行う。

(3) 適正な塾生数の見極め

- ・令和2年度はコロナ禍による事業継続の可否を検討する期間が必要であったため、募集期間を1ヶ月遅らせた。また、塾生の定員を削減せざるを得なかったため、応募資料の送付は今までに塾生として実績のある小学校、中学校宛に絞って案内を行い、以下の応募があった。

参考…応募者数の推移

年度	人数	男女別人数	対前年比
平成29年	78名	(男子 34名 女子 44名)	▲19名
平成30年	90名	(男子 43名 女子 47名)	+12名
令和元年	76名	(男子 36名 女子 40名)	▲14名
令和2年	83名	(男子 38名 女子 45名)	+7名
令和3年	59名	(男子30名 女子29名)	▲24名

- ・今年度は、男子21名、女子21名の定員とし、7名3チームで運営を行い、適正な塾生数、チーム数の見極めを行いたい。

(4) やまももの会の運営とボランティア確保

- ・令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、毎年行っている総会は実施できず、書面決議で議題を審議した。また、感染拡大を懸念し、塾活動中のボランティア参加も見送った。
- ・しかし本年度はスタッフ減少に伴い、活動中の安全面での支援が必要となったため、学生ボランティアを募って事業運営の協力を要請しており、ボランティアの人員確保が課題となる。

(5) 自然塾創立20周年記念事業の準備

- ・令和4年(2022年)は、自然塾が設立して20周年を迎える。したがって20周年記念事業運営方針ならびに概要案の構想を検討する必要がある。

【参考】

事業活動方針

基本理念、指導方針に基づき、塾生諸君へのメッセージにある内容を具体的に実行していく。

(1) 基本理念

『生きる力を大地から学ぶ』

自然の助けを借りながら
共に考え、知恵を働かせ
自らの汗を流し
自らが成長する

(2) 指導方針

- ①生活面での心得や作業方法などの基本的事項ならびに安全作業や危険行為などの重要事項は指導するが、基本は体験を通して自らが気づき、学びにつなげる。
- ②「指示しすぎず」「命令しすぎず」「教えすぎず」「世話をやきすぎず」を基本姿勢として、自主性を引き出し、自らの行動につなげる。
- ③指導にあたっては、「共に動き、共に考え、共に学ぶ」という基本姿勢を大事にして育成支援を行う。

(3) 塾生諸君へのメッセージ（市村自然塾創始者 浜田 広）

土に触れ 土を耕し
植物を育て 植物に囲まれ
自然の恵みを全身で受ける。
身体を動かし 汗をかく
勤労の気持ちよさ
ゆっくり深呼吸をする
よく噛んで 残さずいただく
友達と助け合う。

<第2号議案> 令和3年度 事業計画および活動予算の件 ②

令和3年度 活動予算書(案)

令和3年1月1日から令和3年12月31日まで

(単位:円)

科 目	金額	収益・費用の主な内訳
I 経常収益		
1. 受取会費		
法人正会員受取会費	3,300,000	45社 110口×@ 30,000円
個人正会員受取会費	297,000	23名 99口×@ 3,000円
法人賛助会員受取会費	40,000	5社 8口×@ 5,000円
個人賛助会員受取会費	127,500	39名 85口×@ 1,500円
2. 受取寄付金		
受取寄付金	24,439,000	株式会社リコー 10,000,000 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 3,200,000 三愛石油株式会社 3,000,000 ふるさと納税 2,969,000 公益財団法人市村清新技术開発財団 2,500,000
3. その他収益		
受取利息	1,000	預金利息
雑収益	49,000	中山間地農業補助 他
経常収益計	28,253,500	
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	12,608,800	職員給与
賃金	1,280,000	管理栄養士、調理師、看護師の人材派遣費用
法定福利費	1,340,800	社会保険料、労働保険料 等
人件費計	15,229,600	
(2) その他経費		
教材費	360,000	種・苗・堆肥、もの作り・体験活動 等の活動教材
燃料費	75,000	ガソリン代、灯油代
図書資料費	37,000	書籍・新聞購読料 等
保健衛生費	90,000	日用品、医薬品 等
食材費	400,000	活動時における食事の食材
旅費交通費	50,000	塾生送迎交通費、研修 等
通信運搬費	560,000	電話料金、郵送料、宅配費 等
消耗品費	300,000	事務用消耗品、厨房関係消耗品 等
水道光熱費	740,000	電気、ガス料金
賃借料	1,277,000	車両、農地、機械借用料 等
印刷製本費	521,000	コピー代、塾生募集パンフレット 等
修繕費	30,000	活動用機器の修繕費
保険料	20,000	看護師、OB・OGボランティア参加時の保険 等
その他経費計	4,460,000	
事業費計	19,689,600	
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	3,598,200	職員給与
法定福利費	352,200	社会保険料、労働保険料 等
人件費計	3,950,400	
(2) その他経費		
旅費交通費	412,000	出張旅費、交通費
福利厚生費	1,120,000	単身職員借上寮、定期健康診断料 等
通信運搬費	66,000	電話、携帯電話、切手 等
消耗品費	5,000	事務用消耗品 等
水道光熱費	192,000	電気、ガス料金
賃借料	279,000	パソコンリース 等
会議費	40,000	会議時の飲食費用
渉外費	90,000	地域との懇親、来塾者との飲食費 等
修繕費	91,000	設備機器の修繕費用
支払手数料	180,000	振込手数料・残高証明 等
租税公課	5,000	収入印紙代
保守費	1,835,000	警備保守、防火管理、浄化槽管理、空調管理 等
雑費	110,000	会計サポート、玉串料 他
その他経費計	4,425,000	
管理費計	8,375,400	
経常費用計	28,065,000	
当期正味財産増減額	188,500	
前期繰越正味財産額	9,786,140	
次期繰越正味財産額	9,974,640	

活動予算書(案)の主な増減要因

(単位：円)

科 目	令和2年 実績	令和3年 予算(案)	差異	増減要因
I 経常収益				
1. 受取会費				
法人正会員受取会費	2,970,000	3,300,000	330,000	10社 21口増/5社 10口減
個人正会員受取会費	297,000	297,000	-	
法人賛助会員受取会費	40,000	40,000	-	
個人賛助会員受取会費	127,500	127,500	-	
2. 受取寄付金				
受取寄付金	37,942,000	24,439,000	△ 13,503,000	CCBJI、CCWJ山陽基金の減
3. その他収益				
受取利息	562	1,000	438	
雑収益	67,758	49,000	△ 18,758	
経常収益計	41,444,820	28,253,500	△ 13,191,320	
II 経常費用				
1. 事業費				
(1) 人件費				
給料手当	15,548,422	12,608,800	△ 2,939,622	人員体制見直しによる減
賃金	1,028,166	1,280,000	251,834	ステージ増による調理師費用の増
法定福利費	1,644,835	1,340,800	△ 304,035	
人件費計	18,221,423	15,229,600	△ 2,991,823	
(2) その他経費				
教材費	387,567	360,000	△ 27,567	
器具備品費	65,000	-	△ 65,000	
燃料費	61,802	75,000	13,198	
図書資料費	77,736	37,000	△ 40,736	
保健衛生費	81,134	90,000	8,866	
食材費	140,741	400,000	259,259	ステージ増による食材の増
旅費交通費	-	50,000	50,000	
通信運搬費	599,467	560,000	△ 39,467	
消耗品費	343,530	300,000	△ 43,530	
水道光熱費	864,669	740,000	△ 124,669	リコー新電力切換えによる減
賃借料	1,320,260	1,277,000	△ 43,260	
印刷製本費	491,548	521,000	29,452	
修繕費	68,598	30,000	△ 38,598	
保険料	27,890	20,000	△ 7,890	
その他経費計	4,529,942	4,460,000	△ 69,942	
事業費計	22,751,365	19,689,600	△ 3,061,765	
2. 管理費				
(1) 人件費				
給料手当	10,557,157	3,598,200	△ 6,958,957	人員体制見直しによる減
法定福利費	704,930	352,200	△ 352,730	
人件費計	11,262,087	3,950,400	△ 6,958,957	
(2) その他経費				
旅費交通費	195,990	412,000	216,010	ボランティア交通費の増
福利厚生費	2,513,081	1,120,000	△ 1,393,081	人員体制見直しによる減
通信運搬費	64,238	66,000	1,762	
消耗品費	20,023	5,000	△ 15,023	
水道光熱費	216,387	192,000	△ 24,387	
賃借料	270,102	279,000	8,898	
会議費	-	40,000	40,000	
渉外費	161,103	90,000	△ 71,103	
修繕費	5,980	91,000	85,020	
支払手数料	112,112	180,000	67,888	
租税公課	-	5,000	5,000	
保守費	1,818,727	1,835,000	16,273	
雑費	109,192	110,000	808	
その他経費計	5,486,935	4,425,000	△ 1,062,743	
管理費計	16,749,022	8,375,400	△ 8,021,700	
経常経費計	39,500,387	28,065,000	△ 11,435,387	
当期正味財産増減額	1,944,433	188,500	△ 1,755,933	
前期繰越正味財産額	7,841,711	9,786,000	1,944,289	
次期繰越正味財産額	9,786,144	9,974,500	188,356	

〈第3号議案〉 理事および監事選任の件

令和3年度

理事および監事(新体制案)

任期 令和3年3月16日から令和5年3月15日

理 事

	氏 名	備 考	
代表理事	柴田 暢雄		再任
副代表理事	松尾 哲吾	松尾建設株式会社 代表取締役社長	再任
副代表理事	川原 唯司	リコージャパン株式会社 執行役員 販売事業本部 中国・九州地域担当	再任
理事	稲川 晶子	コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 CSV推進部 担当部長	再任
理事	呉藤 徹	株式会社佐電工 代表取締役専務	再任
理事	阿部 哲嗣	株式会社リコー サステナビリティ推進本部 社会環境室長	再任
理事	松村 淳一	佐賀ガス株式会社 代表取締役社長	再任

監 事

	氏 名	備 考	
監事	江副 友祐	リコージャパン株式会社 経営企画本部 福岡ビジネスサポートグループ リーダー	再任

なお、本年度以降も安定的な事業運営をすべく、役員(理事・監事)を若干名増員したい。

定款より
第4章 役員および職員
(種別及び定数)
第13条 この法人に次の役員を置く。
(1) 理事 5人以上10人以内
(2) 監事 1人以上2人以内

塾 頭

	氏 名	備 考	
塾頭	黒田 隆太郎	市村自然塾 九州	新任

令和2年度
理事および監事(現体制)

理事

	氏名	備考
代表理事	柴田 暢雄	
副代表理事	松尾 哲吾	松尾建設株式会社 代表取締役社長
副代表理事	川原 唯司	リコージャパン株式会社 執行役員 販売事業本部 中国・九州地域担当
理事	稲川 晶子	コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 CSV推進部 担当部長
理事	呉藤 徹	株式会社佐電工 代表取締役専務
理事	阿部 哲嗣	株式会社リコー サステナビリティ推進本部 社会環境室長
理事	松村 淳一	佐賀ガス株式会社 代表取締役社長

監事

	氏名	備考
監事	江副 友祐	リコージャパン株式会社 経営企画本部 福岡ビジネスサポートグループ リーダー

以上